

「未知の世界に飛び込む」

未知の世界に自ら飛び込んで、やったことのないことをやることによって、使ったことのない脳が働き出す。それにより、いろいろな意味で自己発見、自己開発を発見できる。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

残暑の厳しい日が続いていますが、季節はゆっくりと動き出し、朝夕に吹く風に秋の気配を感じられるようになってきました。

近年、あらゆる物事が変化の時を迎えており、その流れに対応していかなければなりません。世の中には多くの知らないことで溢れていますが、気にすることなく過ごしたり、知ろうとする機会を持たないことも多いのではないのでしょうか。しかし、知りたいと思った瞬間から意識が変わり、本を読んだり調べたり、他者の話を聞いたりと行動に移すことで、考え方や価値観、生き方の違いに驚きや感動、感銘を受けたりと学ぶことが多くあります。そして人への理解が深まったり、かかわりのなかで自分は何を良いと思うのか、どうしていきたいのか自己を知っていきます。そして、さらに深く知りたいと思う好奇心や探究心が芽生え自分でも気づかなかった新しい自分に出会えるのかも知れません。

子どもたちの毎日は、初めての経験に溢れ、新しいことへの気付きや発見で満ちています。そして、「なぜ? どうして?」の好奇心は知的、精神的な成長や、心の豊かさを育みます。好奇心に忠実に、一歩踏み出す勇気を持ち、失敗しても進んで行ける決断力や粘り強さなど生きる力を培い、知ることの楽しさや世界が広がる喜びを共に感じたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

9月聖句

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたもお互いに愛し合いなさい。

ヨハネによる福音書 13章34節

9月主題

「のびのびと」0歳

- ・神さまが創られた自然を感じる。(空の雲・風等)
- ・興味の幅が広がり活発に動く。
- ・繰り返しいろいろなことを試してみる。

1・2歳

- ・讃美歌や聖書のお話に触れ、楽しむ。
- ・保育者や友だちとのやりとりを楽しみながら、のびのびと過ごす。
- ・やりたいことを存分に楽しむ。

～子どもたちの姿～

熱中症アラートが発令される日や急な雷雨など天候が不安定となり、水遊びや戸外での遊びを控える日が続きました。室内ではままごと遊びを楽しむ子どもたちが多く、フライパンを振りながら「熱いですよ」「気を付けてね」と声をかけたりお湯を沸かしたり、食器を布巾で拭いたり、日常の大人の様子をよく観察し真似ています。また、小さい友達に「出来ましたよ」「召し上がれ」とスプーンに掬い2人で口をもぐもぐと動かし笑い合う姿も見られたりと、友だちとの関わりややりとりが盛んになっています。お店屋さんやお医者さんごっこなどにも発展することもあり、発想を大切にしながら、子どもたちの想像力を広げられるよう環境を整え丁寧に関わっていきたいと思います。



【9月の讃美歌】

そのかずいくつ

【9月のうた】

とんぼのめがね
まつぼっくり
どんぐりころころ

	月	火	水	木	金	土	日
9月の予定表			1	2	3 引き渡し訓練	4	5
	6	7	8 身体測定	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20 敬老の日	21	22	23 秋分の日	24	25	26
	27	28	29	30 クレイシュ通信			

◎9月3日(金)は引き渡し訓練になります。感染予防のため各家庭時間厳守でのご協力をお願いいたします。
◎持ち物の名前が薄くなってしまっているため確認をお願いいたします。